

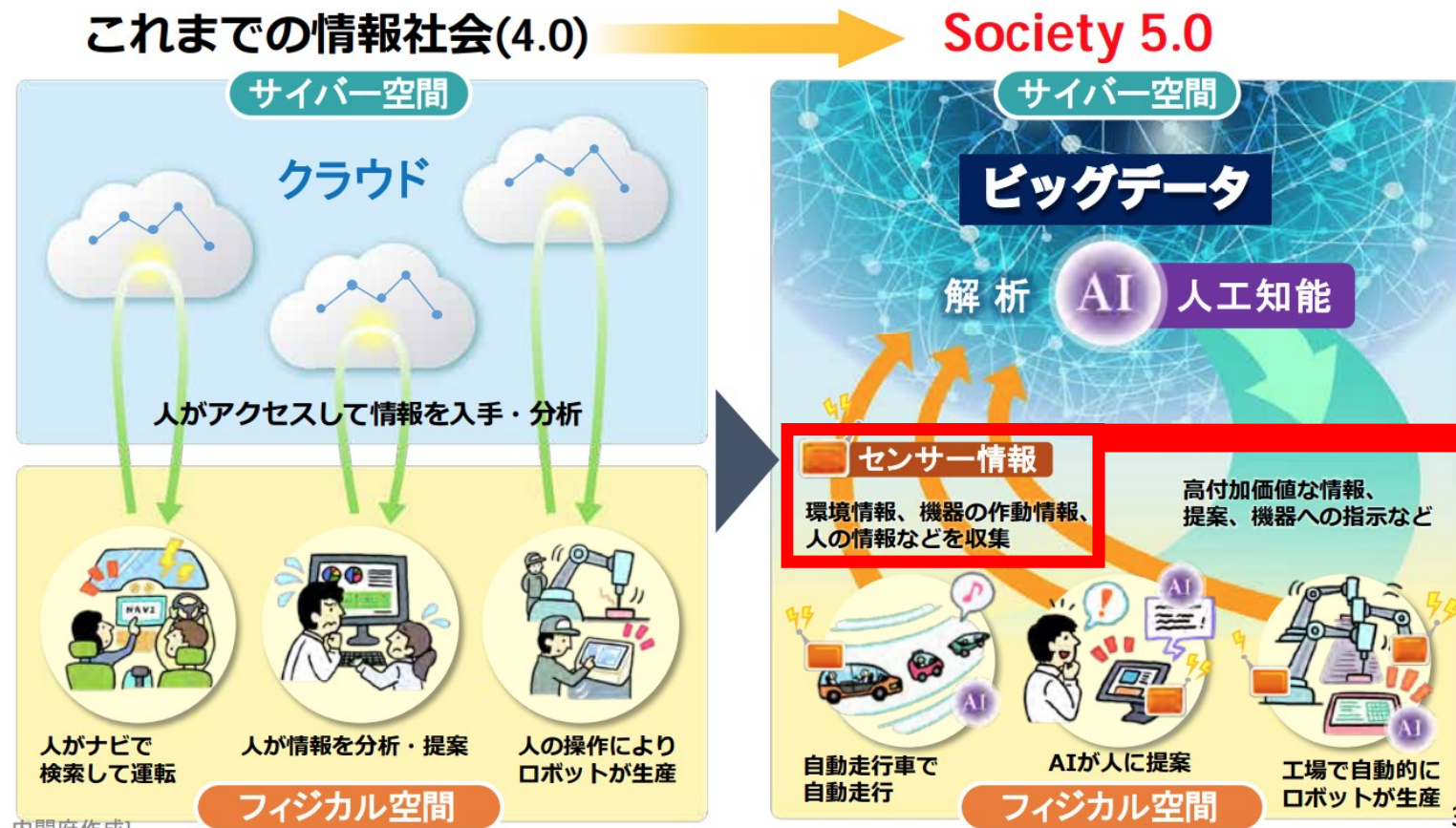
**LONG
HASH**

クリス ダイ

**ブロックチェーンで達成する
Society5.0**

**ブロックチェーンで構築するデータマーケット
プレイスの活用事例を例に**

■ Society5.0ではフィジカル空間とサイバー空間が点で繋がっているのではなく面でつなぐことが必要



ユビキタス
(遍在する)
データが必要！

内閣府作成1

※内閣府作成資料を引用

Society5.0に欠かせないデータはどこから？



既存のビジネス環境では様々な**データサイロ**ができています。

「ソフトバンク」
月間3億件の**位置情報**や
接続データに基づき、
繋がりにくい地域を
特定、接続環境の改善に

「三井住友銀行」
店頭やコールセンターから
年間3万5千件の
音声や**テキスト**での
顧客の声
を分析し、サービス質改善

「本田技研工業」
車に付属のカーナビからの
毎月1億キロ以上になる
走行データを分析し、
渋滞回避ルートや
交通案内アナウンスなど

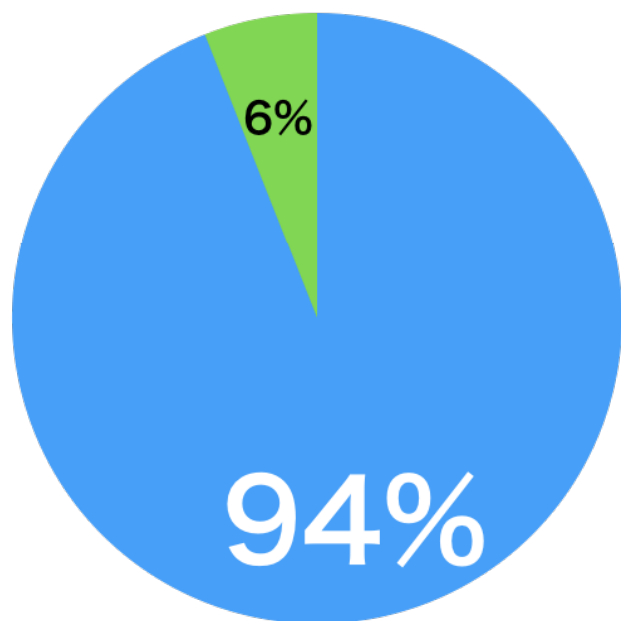
「岐阜大学付属病院」
年間4000件の**手術データ**
50万人以上の患者の
診断実績の解析による
再手術の削減や
薬剤費の最適化

「ローソン」
会員数6531万人の
Pontaカードに
よる**顧客データ**から
ビールの新製品の開発

「楽天」
会員数9700万人の
楽天IDによる
消費者行動分析データ
から
広告配信など

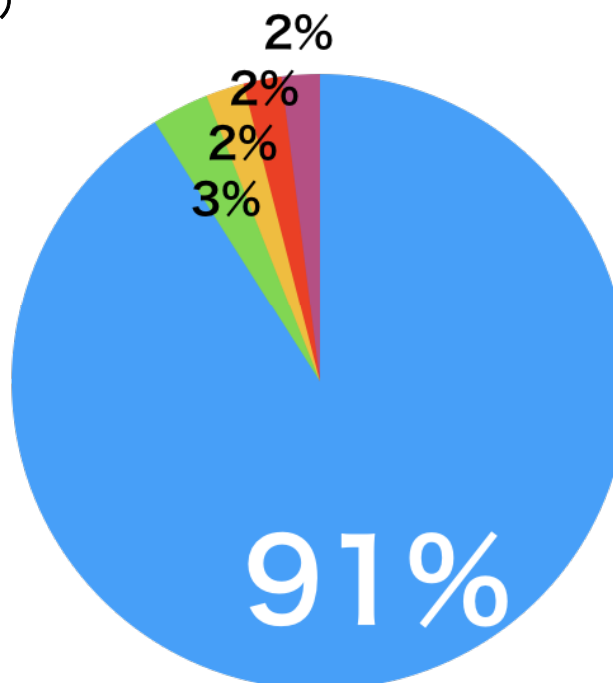
データの収集元は一極集中化している

ソーシャルメディア利用者と
Facebookのアカウントを持つ比率(2017年)



Facebook: 94%

検索エンジンシェア(2018年)

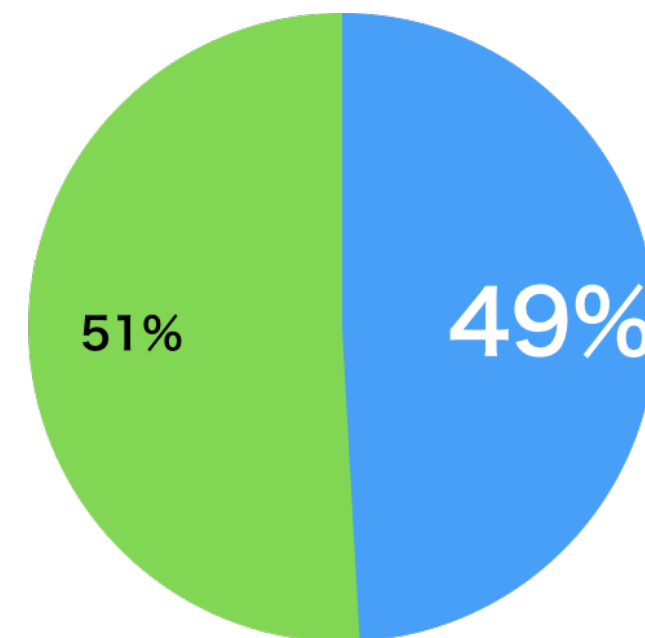


Google: 91%

Yahoo!: 2%

Bing: 2%

米国E-コマース
売上高割合(2018年)



Amazon: 49%

データの集中による弊害

✓データを1社が独占する事は時にイノベーションを阻害し、私達のデータが無断で利用されている場合がある。

✓利益の最大化を求めて、個人のプライバシーや言論の自由を犠牲にする可能性がある。

テクノロジー 2018年8月17日 / 07:59 / 2ヶ月前

米グーグル、中国の検閲対応検索エンジンに従業員が抗議

1分で読む



[サンフランシスコ 16日 ロイター] - 米大手情報技術（IT）企業アルファベット（GOOGL.O）傘下のグーグルが検討している中国の検閲に対応した検索エンジンについて、多数の同社従業員が内部文書で「透明性と監視、説明責任」を強化する必要があると抗議したことが明らかになった。ロイターが16日、内部文書を閲覧した。

Source：ロイター通信



ケンブリッジ・アナリティカ社めぐる疑惑 これまでの経緯

© 2018年03月21日

ゾーイ・クラインマン BBCニュース・テクノロジー担当記者



不正疑惑、心理操作、データ悪用などを含む驚くべき物語が、国際的な激しい反応を引き起こしている。

テクノロジーの巨人フェイスブック社と、データ分析を専門とするケンブリッジ・アナリティカ社は、個人データの収集と使用、そしてそれらが2016年の米大

Source：BBCニュース Japan

データが大企業に集中する理由

- ・インターネットプラットフォームの中央集権的な特性

- 既存のインターネットサービスを受けるときに認証がどうしても中央集権的になる。

- データの整合性と安全性を守るために中央集権的管理になる。

- ・データの流動性の低さ

- 企業はデータを参入障壁としている為、他社に販売しない。

- それにより、社会全体のデータの価値の最大化が為されない。

- ・上記の理由からデータ収集とデータ活用(分析)企業は同一になる

- データを集めるデバイスコストや1社でデータを集める為、必要なデータ量が膨大になり、そこまでの資金力のある企業のみが可能に。

大企業のみがデータを活用する弊害

こうしたデータを参入障壁として考えている企業が
社会問題(地方経済の空洞化、高齢化や環境問題など)に
取り組むインセンティブがない。

また、自社の利益最大化ができる市場しか参入しない。



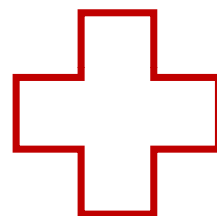
ブロックチェーンは中央集権的な大企業の声だけではなく、
参加者一人一人の価値観を反映するマーケットプレイスを
構築することができる。

- ブロックチェーンで構築するマーケットプレイス
- 大企業依存のデータ収集から離脱し、データの流動性を増加



ブロックチェーンはデータを貯めるにフォーカスすることではなく
トランザクションに重点を置き、データの社会価値を高める

データ取引を可能にする
データの収集者と
データの活用者の分離
(データの民主化)



データに誰もがアクセス
できるようになる事で、
分析活用が盛んになり、
恩恵を受ける人の多様化

各データ源の収益性
の担保

データを活用したサービス
が活発する環境

ブロックチェーンによる課題の克服

データ共有の課題

ブロックチェーン技術がこれらの懸念に対処した方法

データセキュリティ

所有権 & データ移動性

取引先リスク

消費者を参加させるインセンティブ

使用事例の欠如と 高コスト

サイロ型システム

社内における専門知識の欠如



分散化経営モデル

- 分散化モデルは、一個人や団体がビジネス生態系をコントロールしないことを保証します
- すべての取引間の透明性は、反則の危険性を最小限に抑えます
- 分散化された資源とサービスは、多くのサービス提供に活かされます
- 消費者に対し自分の購買データを価値にするインセンティブを与えられる



暗号技術的な安全性

- ブロックチェーンのビジネス生態系は攻撃に対する強い耐性があることがわかり、必要に応じてデータが確実に守られ、匿名性が確保されます
- データの所有権は、ブロックチェーンを通じて簡単に定められ、強化されます



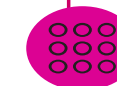
オープンソース、開かれた分析技術の共有

- 開かれたデータは、全世界のオープンソースコミュニティや技術者の専門知識を取り込むことにより、購買データ分析に特化した分析モデルを専門家によって提供し、分析能力を持たない中小の業者に提供できる。



分割された資源

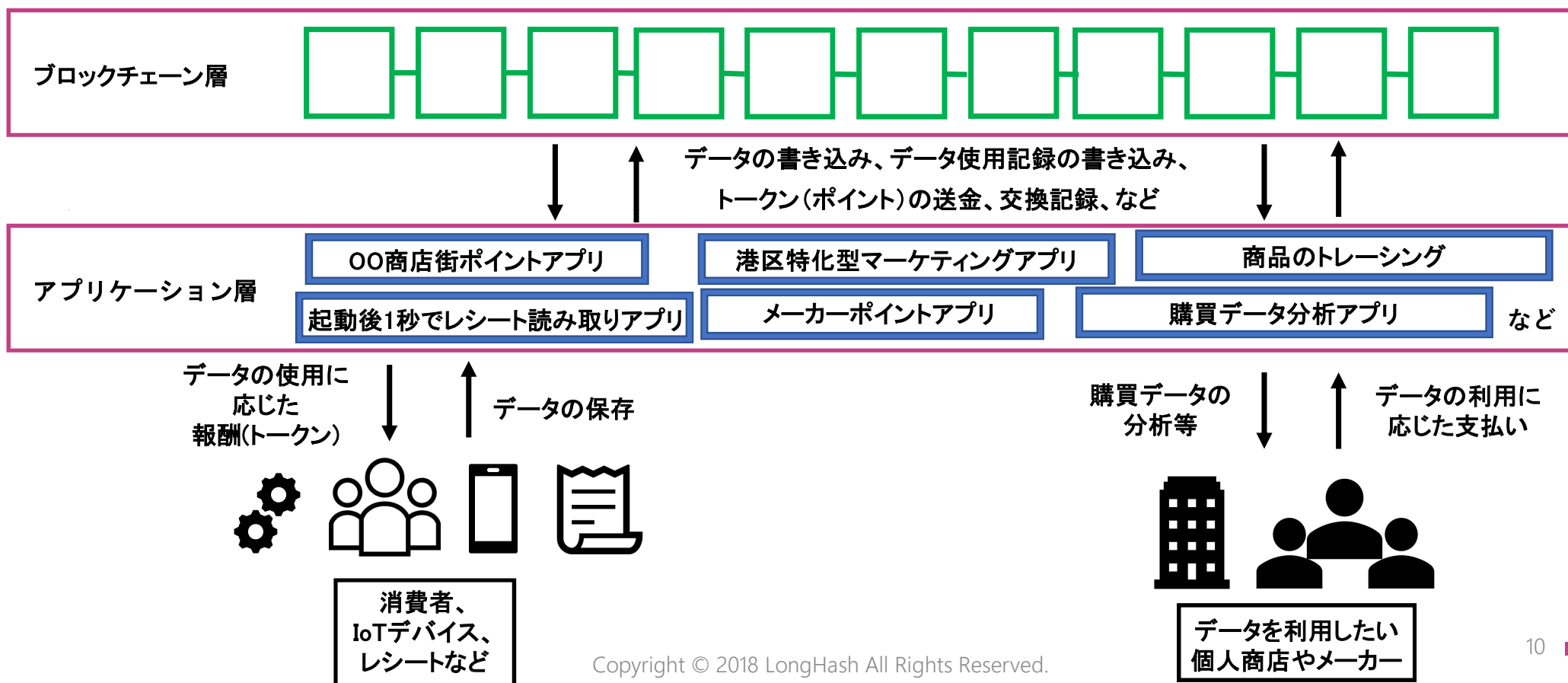
- ブロックチェーンは、活用されていない資源を解放すると共に、データの保存と処理を都度払い単位に分割していくことを促します



購買情報の自由化を促進する「レシカ」



集約したデータを誰でもが利用できるプラットフォーム



■ データが社会インフラとして



データが自由に活用することができる
よくなることより、社会インフラを構築することができる



データの民主化による新しいイノベーションを生み出す為に
ブロックチェーンは必要！

LongHashについて



LongHashは、ブロックチェーン技術の発展と理解を加速させるためのプラットフォームです。

LongHashインキュベーション

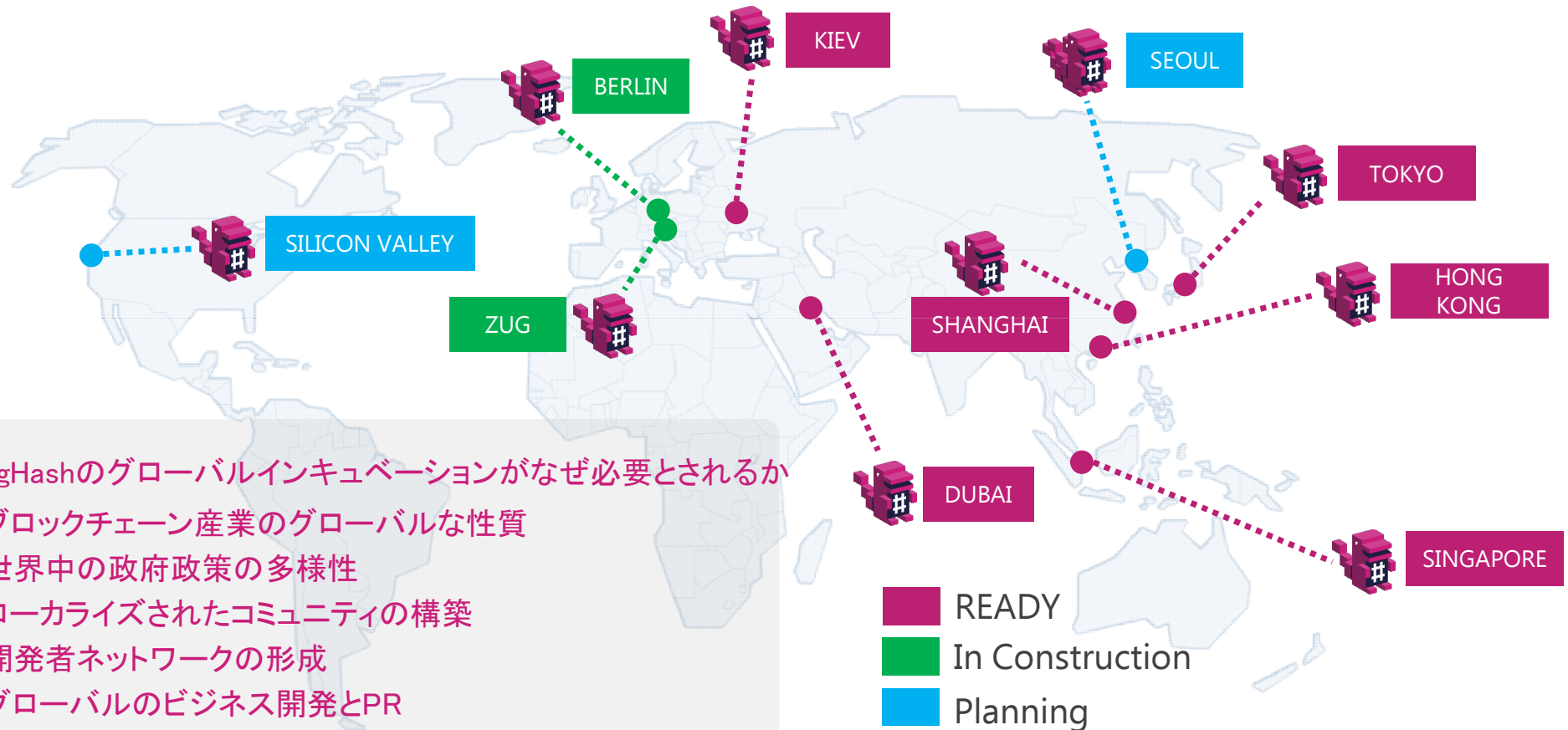
LongHashインキュベーションは、ブロックチェーン関連のプロジェクトに取り組むスタートアップのために全てのサポートを提供します。米国、アジア、ヨーロッパ、中東の少なくとも10都市でインキュベーションを開設する予定です。私たちのインキュベーションは、国内外の最先端技術と業界動向に関するデータを収集するのに役立ちます。最初のインキュベーションは、東京のWeWork (Ark Hills South) にございます。

LongHash データとメディア

LongHashのデータジャーナリズムプラットフォームは、データ分析と記事のストーリーテリングを組み合わせることで、仮想通貨のことを理解するのに役立ちます。投資家だけでなく、ブロックチェーンのことを詳しく理解したい初心者も歓迎します。私たちの分析は、独自かつ的中立的なグローバルなものです。

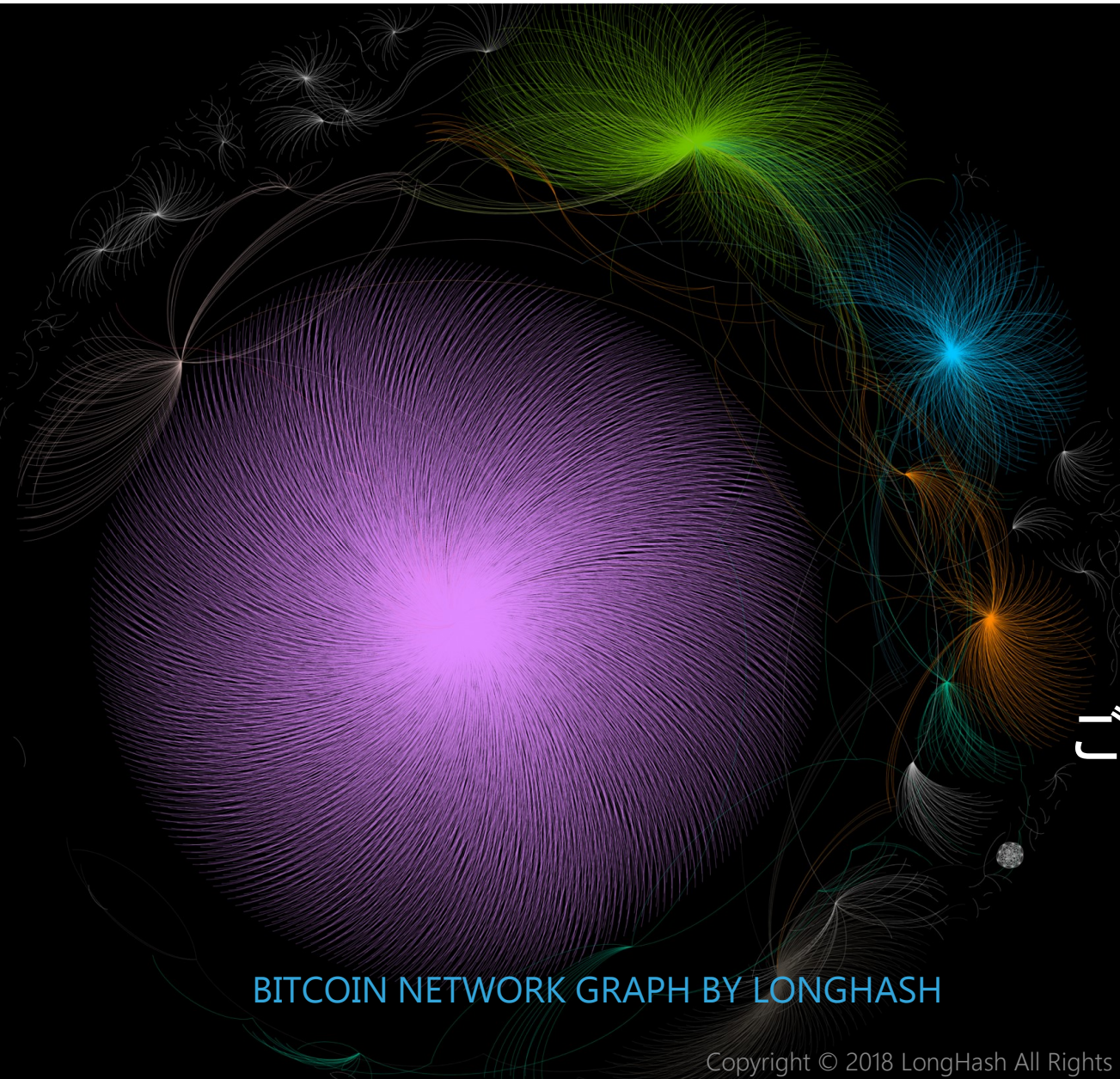


グローバルインキュベーションネットワーク



LongHashのグローバルインキュベーションがなぜ必要とされるか

- ブロックチェーン産業のグローバルな性質
- 世界中の政府政策の多様性
- ローカライズされたコミュニティの構築
- 開発者ネットワークの形成
- グローバルのビジネス開発とPR



ご協力宜しくお願い致します。

BITCOIN NETWORK GRAPH BY LONGHASH



Copyright © 2018 LongHash All Rights Reserved.